

# 庭に活力を！

## 1. 寒風景な庭と台風対策

3/19 に練馬から新鎌ヶ谷に引き越してきた。急いだ理由は、木の芽が出始めていたからである。幸い樹木の95%は根付いているが、未だ樹木の植栽が30%程未完成である。それは、軽井沢の庭を手掛けた造園業者が、世界屈指の大富豪家BG氏の豪邸の庭工事に時間を取られ、我が家の造園に來れないことと、寝室2(家内の部屋)の南側に朝日が直接吸収出来る部屋を増築するので、リビングの西側(寝室2の南側)の空き地に植栽が出来なく、北側の空き地と合わせて来年に延期することにした。従って、大きな樹木の植栽を済ませていないから、宿根草の本格的な植え込みが出来ないのである。加えて、庭の土質が粘土質なので、FFCエース(製造元の赤塚物産は過去に経営指導をしており、植物に効き目があることを熟知している)の粒状土を散布しており、効き目に時間を要するから、2年掛かりの庭計画に延期したのである。5/12の台風6号が千葉市を襲い、庭の大木を約30本余り倒され、仲間や工務店の若者の人力×5人で倒れた木をおこし復旧させるのに半日掛かった。今後の台風を予測し、台風の風向きに鉄棒(直径1cm×長さ1m)×15本を地中に打ち込み、ロープで鉄棒と大木を縛り、9本の大木に台風対策を講じた。



寒風景な庭(入口から見る)



台風で倒れた大木



台風の防護ロープ×5本



練馬から移設仮植の宿根草

## 2. 練馬の自宅から移設の宿根草

仕事から足を遠のいた僕は、軽井沢で入手困難な珍しい高山植物と自宅で珍種の宿根草の栽培に時間を費やしたいので庭作りに余念がない。練馬の自宅から移設してきた宿根草は、実家(兵庫県たつの市)の山から持ち帰ったヤマブキソウに続き、エビネ、ギボシ、ピロードソウ、ジュリアン、キツリフネ、ヒマラヤユキノシタ、シラン、ヤマユリをはじめコバンシタ、ラベンダー、スイートアリツム、サンゴ、アメシストセージ、オダマキ、アキコスモス、ハナカンザシ、ホタルブクロ、キジョウロ、ホトトギス、リュウノヒゲなど、練馬の自宅で見慣れた花を新天地の新鎌ヶ谷に運んできた。

## 3. 宿根草で庭に活力を！

宿根草と木の苗を全国的に販売展開している真面目な青年の農場主と知り合う機会があり、僕達の理想と農場主の知識を合わせた、夢の庭作りを目指そうと意気投合し、珍しい宿根草と木の苗を確保した。

代表的な木は、3年掛かりで探し入手出来なかったアオモジ、赤花キブシ、ツクバネが入荷し、珍しい木としては常緑ヤマボウシ月光(中国産)とエゾユズリハがリビング前(南側)の小山近くにメインツリーとして植え込み、続いてアカシアスペクタビリス、マルバノキ、エゾユズリハ紅花エゴノキ株立、ミズキ斑入り、シャラ株立、アジサイアナベルなどを植え込んでいる。

宿根草は、約100種×(通常10~30株、中には100~200株)の総数で大凡600株程植え込んでいるだろう。今回は、時期的に新芽が出ており植え込むチャンスを逃がした(時期が遅い)のと、宿根草を見つける時間が無かったので、庭の完成は2年計画に延期した。従って、今回は家の手前の通路の左側と右側の庭100坪程に植栽することにした。珍しい宿根草の花は咲き終わり見られず残念だ。



宿根草の植込作業



寒風景な庭に植え込む



玄関から入口側を見る



常緑ヤマボウシ月光

2015年6月1日  
横林寛昉